

福岡共同 公文書館だより

Fukuoka Communal Archives

vol.20

令和4年10月
October 2022

—福岡共同公文書館は、
開館10周年を迎えます—



TOPICS / 展示解説……………2～4ページ

開館10周年記念特別展第2弾

「ふくおかあの日あのとき 1972年～50年前、『町』が『市』になりました～」

● 日めくり公文書館……………5～7ページ

● 所蔵資料のご紹介……………8ページ

開館10周年記念特別展 第2弾

令和4年11月11日～令和5年1月22日

ふくおか あの日あのとき 1972年

～50年前、『町』が『市』になりました～

はじめに

二〇二二（令和4）年、福岡共同公文書館は開館してから満十年となりました。今年度の企画展は、十周年という一つの区切りを迎えたことを主眼に『特別展』と言う名称に変更してお届けしています。

第一回の特別展は、十周年を機に「公文書」本来の原点を見つめ直す意味で、「税金」を原資とした行政運営の一端を、時代の流れという「線」に沿って紹介しました。そこで第二回は「線」の中のどこか「一点」にフォーカスして紹介できればと考えました。

当館は十周年を迎えたが、当館が所在する筑紫野市は今年が市制施行五十周年という記念の年に当たっています。また、近隣の春日市、大野城市、小郡市も同様に今年が市制施行五十周年です。そうしたことからこれらの市が新しく誕生した、五十年前の一九七二（昭和47）年という「一点」にスポットを当ててみたいたいと考えました。

また時あたかも「昭和レトロ」ブーム、近年の昭和回顧の風潮にも着目しました。敗戦によ

り新しい一步を踏み出した一九四五（昭和20）年から、天皇崩御により終焉を迎える一九八九年まで、民主主義と平和を謳歌した戦後昭和の45年間を振り返る時、時代を二分する中間の「一点」が、ちょうどこの一九七二（昭和47）年に当っているのです。

（昭和64）年まで、民主主義と平和を謳歌した戦後昭和の45年間を振り返る時、時代を二分する中間の「一点」が、ちょうどこの一九七二（昭和47）年に当っているのです。

一九七二（昭和47）年の日本



▲『1970年代の思い出アルバム 上』
(フォト・パ・プリッシング 2018)



▲『1970年代の思い出アルバム 上』
(フォト・パ・プリッシング 2018)



▲『1970年代の思い出アルバム 上』
(フォト・パ・プリッシング 2018)



▲『1億人の昭和史 9』
(毎日新聞社 1976)

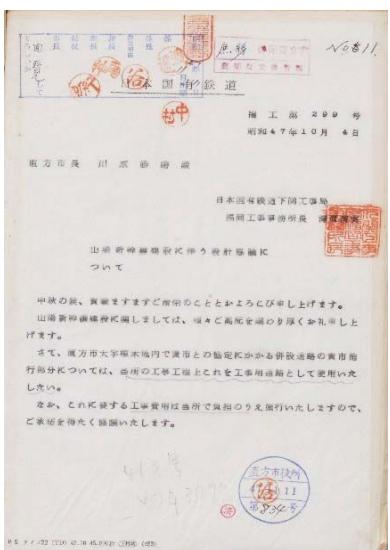
続く九月には、田中角栄首相と中国の周恩来政務院総理が北京で共同声明に調印し、日中邦交正常化が達成されるなど、日本は戦争という過去の歴史の清算に努力しました。そして十月、日中邦交正常化記念として中国からジャイアントパンダのランランとカンカンが寄贈され、十一月に上野動物園で公開されるや否や、日本中に一大パンダブームを巻き起こしました。



▲『1億人の昭和史 8』
(毎日新聞社 1976)

件の発覚など、衝撃的なニュースが流れました。四月、ノーベル文学賞では日本人初の受賞者であった川端康成が自殺し、五月には日米の沖縄返還協定の発効により、沖縄が日本復帰を果たしました。

あの日あのとき ~1972~			
福岡県内の動き		日本国内の動き	文化・娯楽
1月	●英彦山青年の家（添田町）開館	★グアム島で元日本兵・横井庄一氏を発見	【流行歌】 『あの鐘を鳴らすのはあなた』(和田アキ子)
2月	●山陽新幹線福岡地区建設工事起工 ●山田弾薬庫（北九州市）返還	★札幌冬季オリンピック開催 ★連合赤軍による「あさま山荘事件」	『瀬戸の花嫁』(小柳ルミ子) 『どうにもとまらない』(山本リンド) 『旅の宿』(吉田拓郎)
3月	●「農村地域工業導入基本計画」策定 ●米軍芦屋射爆撃場全面返還	★奈良県明日香村の高松塚古墳で極彩色の壁画を発見	『せんせい』(森昌子) 『男の子女の子』(郷ひろみ) 『喝采』(ちあきなおみ)
4月	●『福岡県長期ビジョン』策定 ●福岡市が政令指定都市に、春日市・大野城市・筑紫野市・小郡市が市制施行 ●板付飛行場返還	★米の物価統制令適用を廃止し、自由価格となる ★小説家・川端康成がガス自殺	【ベストセラー】 『恍惚の人』(有吉佐和子) 『日本列島改造論』(田中角栄) 『坂の上の雲』(司馬遼太郎)
5月	●鳥栖筑紫野有料道路開通 ●移動診療車「やまびこ号」巡回開始	★大阪市・千日デパートビル火災 ★沖縄返還	【話題の映画】 『座頭市 御用旅』 『子連れ狼 三途の川の乳母車』 『ゴッドファーザー』
6月	●老人大学開校 ●米軍春日原住宅地区返還	★田中角栄が『日本列島改造論』を発表 ★佐藤栄作首相が退陣表明	
7月	●県全域に戦後2番目の大水害	★田中角栄内閣（第1次）発足	【テレビ】 『木枯し紋次郎』
8月	●江川ダム（朝倉市）完成	★カシオ計算機が世界初のパーソナル電卓「カシオミニ」を発売 ★ミュンヘン・オリンピック開催	『必殺仕掛け人』(必殺シリーズ第1作) 『太陽にほえろ』放映開始
9月	●高齢者就職コーナーを職安に新設	★日中交正常化共同声明に調印	【漫画】 『ペルサイユのばら』(池田理代子)
10月	●筑豊の「宮田工業団地」着工	★ジャイアントパンダのランランとカンカンが上野動物園に来園	『ポーの一族』(萩尾望都) 『同棲時代』(上村一夫) 『漂流教室』(楳図かずお)
11月	●西鉄ライオンズ、西鉄の経営撤退により太平洋クラブライオンズに名称変更	★羽田発福岡行き日航機のハイジャック	【スポーツ】 【野球】巨人、日本シリーズ8年連続優勝
12月		★第33回衆議院議員総選挙	【相撲】高見山、7月場所で外国出身力士として初優勝



▲『国鉄山陽新幹線関係事績綴』 (直吉東公文書)



▲『グラフふくおか』昭和47年3月号
(福岡県行政資料)

この年、亀井光知事は年頭のあいさつで「生活環境の整備、自然保護、老人対策の施策推進」を強調し、一九七二年を「県民優先の年」と位置付けました。現在のことばに置き換えれば、さしづめ「県民ファースト」といったところでしようか。

二月、山陽新幹線の福岡地区建設工事の起工式が行われ、一九七五年春の全線開通がいよいよ現実味を帯びて来ました。また、米駐留軍によ

一九七二（昭和47）年の福岡県

よつて使用されていた北九州市の山田弾薬庫が返還され、これを皮切りに三月には芦屋射爆撃場、四月には板付飛行場（現福岡空港）、六月には春日原米軍住宅地区、というように米軍に接収されていた土地や施設が順次返還されました。

四月一日、新年度最初に福岡県は『福岡県長期ビジョン』を公表し、一九八五（昭和60）年までを射程に入れた県行政の運営戦略を提示しました。

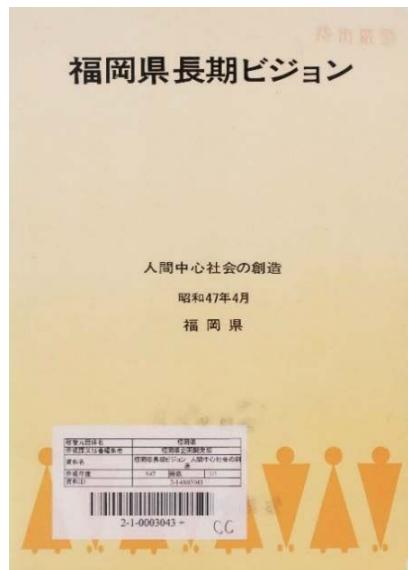
また同日、県内自治体にも大きな動きがありました。福岡市が北九州市に次いで県内二つ



▲当時の福岡空港 『グラフふくおか』昭和48年3月号
(福岡県行政資料)



▲50年後（令和4年4月1日）の各市の広報紙
(春日・大野城・筑紫野・小郡 各市行政資料)



▲『福岡県長期ビジョン』
(福岡県行政資料)



▲『グラフふくおか』昭和47年8月号
(福岡県行政資料)

一九七二年。戦後復興から高度経済成長期を経て安定成長期へ向かう時期の、何かと明るい話題の多かった福岡県ですが、七月、戦後二番目とも言われる大きな水害に見舞われたのもまたこの年でした。



▲『グラフふくおか』昭和47年6月号
(福岡県行政資料)

目の政令指定都市となり、春日市、大野城市、筑紫野市、小郡市の四市が新しく誕生しました。

五月には鳥栖筑紫野有料道路（国道3号線バイパス）が開通。これによる幹線道路の混雑解消と、筑紫地域と佐賀県基山・鳥栖地域の今後の発展に大きな期待が寄せられました。

日めくり公文書館

— 公文書館の出来事をご紹介します —

開館10周年を迎えるにあたり、11月11日（金）からの開館10周年記念特別展やロビー展の開催、11月19日（土）には記念イベントとして、講演会や歴史公文書の活用事例紹介、ギャラリートーク、バックヤード見学会の開催を予定しております。詳しくは、当館のホームページをご覧ください。

このほか、館外展示など、日々の活動にもより力を入れ、皆さんに公文書館を知っていただきたいと思っています！

お

出張展示事業

いでよ！福岡共同公文書館へ～館外展示～

多くの方へ「福岡共同公文書館」を知っていただくため、開館10周年の企画の一つとして、当館では、「いでよ！福岡共同公文書館へ」と題し、出張展示を実施しています。

今年度、これまで出張展示でお伺いしたのは、小郡市生涯学習センター、ミリカローデン那珂川、筑紫野市生涯学習センター、アクロス福岡、生涯学習センター宮若リコリスです。

今後も、公共施設のギャラリー等をお借りして、県内の地域を巡る予定ですので、ぜひお越しください。



▲小郡市生涯学習センター ロビー
期間：4/26（火）～5/10（火）



▲ミリカローデン那珂川 ロビー
5/17（火）～5/31（火）



▲アクロス福岡 1F コミュニケーションエリア
期間：6/27（月）～7/3（日）

あなたの街へ出張展示！



▲筑紫野市生涯学習センター 多目的ホール
期間：6/1（水）～6/15（水）



▲生涯学習センター 宮若リコリス
期間：7/12（火）～7/26（火）

日めくり公文書館

— 公文書館の出来事をご紹介します —

水

特集展示、講演、ワークショップ
害について考える

特集展示

▼特集展示チラシ



▲▼展示の様子



また、6月25日（土）、福岡県立図書館で第55回福岡県地方史研究協議大会「福岡県の洪水一次の世代に語り継ぐ、忘れてはならない歴史ー」が開催されました。

福岡共同公文書館からも、講師として津中主任相談員が参加し、「公文書でみる福岡県の水害」と題し、昭和28年の水害について講演を行いました。

ワークショップ



▲災害の被害にあった公文書の修復作業に挑戦！

▶実際に水を使った作業



福岡県は、例年のように大雨災害に見舞われています。

福岡県の水害の記録は、古くは平安時代にさかのぼるようです。そこから何度も水害は繰り返され、河川の改修工事が行われてきました。

福岡共同公文書館では、非常に大きな被害を与えた昭和28年の水害の際の行政の対応を、公文書を見ていく特集展示「福岡県の水害～昭和28年の水害～」を10月20日まで1階展示室にて開催しております。また、福岡共同公文書館ホームページにおいて、Web展示も開催していますので、遠くてご来館が難しいという方もぜひご覧ください！

一度、展示をご覧いただき、水害について考える機会となれば、と思います。

第55回
福岡県地方史研究協議大会



▲ 講演する津中主任相談員（6月25日）

2月にオンラインで開催した「公文書を災害から守るための講習会」の実践編として、7月29日（金）に国立公文書から講師（3名）をお招きし、対面による「ワークショップ」を開催しました。

県内各所属からお申込みいただいた参加者の皆さまも、水損した公文書等の修復方法について、分かりやすく充実した内容に満足したご様子でした。

公文書を災害から守るため、万が一の備えとして、大変有意義なワークショップとなりました。

ご指導いただきました講師の方々、ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！

日めくり公文書館

— 公文書館の出来事をご紹介します —

3

市町村と共に取り組む、文書保存・利用

年ぶりに開催！

令和4年度市町村文書事務担当者研修会



○研修会の構成（13：30～15：15）

研修内容	備考
福岡共同公文書館の紹介	DVD視聴
歴史公文書の移管・保存について	文書班より
利用部門の業務について	総務企画班より
館内見学	対面参加者

*各市町村のご参加ありがとうございました！

令和4年5月27日（金）に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため見合わせとなっていた市町村文書事務担当者を対象とした研修会を3年ぶりに公文書館にて開催しました。今回は対面とオンライン参加のハイブリッド研修会で、主に「公文書の移管方法・利用方法」について説明しました。

研修会のはじめに、福岡共同公文書館杉野館長から参加の方々に向けて「研修を通じて文書の移管・利用の手続きについて理解することで、この共同公文書館をより身近に感じていただき、実際の事務処理がスムーズに行わることを期待しています。」と挨拶がありました。

また、研修の中で、公文書の移管の方法は令和3年3月に作成・配布した「文書事務担当者のためのハンドブック」にも詳しく載っているため、参考にしていただくよう説明しました。

公

インターンシップ報告

文書館のお仕事、体験！

令和4年8月16日（火）～8月20日（土）の5日間、福岡県内の大学生（1名）が公文書館業務を体験しました。

「私は、今回の研修で初めて公文書館を知りましたが、研修を通して公文書館の重要性や社会人として求められる力とは何かを実感しました。研修の中で、特に印象深かったのは県や市町村から回収した文書の選別作業です。これは、一定の基準に従って文書を分類する作業です。私は、行政の文書を読み込むこと自体が初めてで、その膨大な書類の量に驚くとともに、それらの内容を正確に把握し、基準に沿って分類することの難しさを実感しました。この作業では、素早さと正確さの両立が必要で、社会に出ると、これらの能力が必要となってきます。

こういった社会で必要な能力を養うため、今後も日々邁進していきたいと思います。」

（北九州市立大学法学部2年）

▼スケジュール表

		研修内容
8月16日(火) 1日目	AM	オリエンテーション
	PM	行政資料配架作業
8月17日(水) 2日目	AM	文書登録、ラベル貼り、配架等
	PM	公文書保存庫返却・複写作業
8月18日(木) 3日目	AM	利用請求審査会、製本作業
	PM	行政資料の活用体験
8月19日(金) 4日目	AM	文書選別
	PM	選別会議等
8月20日(土) 5日目	AM	行政資料整理作業
	PM	インターンシップ体験記作成

▼公文書を確認



▼公文書のスキャンに挑戦



▲文書登録やラベル貼りを学ぶ

所蔵資料のご紹介

平成5年度は、農政部職員が、中国へ派遣され、このうち湖北省では、園芸部門の技術交流や中国の生態系活用型農業の技術の詳細な調査を行っており、中国で生産している多数の野菜の情報交換や、農薬・有機肥料の活用状況、生物的防除を活用した病害虫防除の研究内容の情報交換がなされました。

福岡県の農林水産物は、「あまおう」や「秋王」、「福岡の八女茶」、「元氣つくし」など、多くのブランド農林水産物があり、ご存じの方も多いかと思います。こちらの公文書は、平成5年度の福岡県と中国湖北省、江蘇省との農業技術の交流の事跡です。

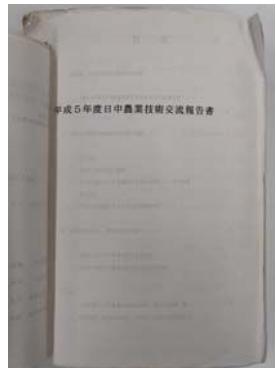
(総務企画班 主事 山崎 理子)



▲野菜や花きの生育状況（左）と产地の状況（右）

福岡県・江蘇省

農業技術交流事業



▲平成5年度日中農業技術交流報告書
「福岡県・江蘇省農業技術交流事業」
(1-1-0000218)

除の研究内容の情報交換がなされました。福岡県の姉妹都市である江蘇省とは、具体的な農業技術交流の可能性を調査しています。農林庁や農業研究所などとの交流では、日本との交流状況や農薬を使用しない野菜づくり（生物農薬や間作、遺伝子導入など）、日本への野菜の導入（種子交換）の可能性について情報交換、協議を行いました。

農業の発展に、国を超えた技術交流が行われていることを、こちらの公文書から知ることができます。新型コロナウイルス感染症の影響により、昨今は国際交流が難しくなっていますが、技術の発展や国際協調に向けた様々な形での国際交流を、公文書の中に探してみてはいかがでしょうか。

まずは、福岡共同公文書館ホームページの「所蔵資料検索」にて資料情報を検索してください。



福岡共同公文書館の所蔵資料を閲覧等したい時はどうすればいいのかな？

利用請求いただいた歴史公文書の内容の審査のため、利用できるまで日数を要しますので、当日ご利用になれないことをご了承ください。各種様式は、福岡共同公文書館ホームページからダウンロードできます。このほか、詳しい利用案内は、福岡共同公文書館ホームページをご覗ください。

● 資料の「公開状態」が「一部公開」
● 資料の「公開状態」が「公開」又は「一部公開」
● 「特定歴史公文書簡易閲覧申込書」に記入し、受付に提出してください。

交通アクセス

福岡共同公文書館

〒818-0041
福岡県筑紫野市上古賀 1-3-1

電話 092-919-6166

FAX 092-919-6168

JR

「二日市駅」下車徒歩約13分または

西鉄バス「警察署前」バス停より徒歩約1分

西鉄

「二日市」下車

西鉄バス「警察署前」バス停より徒歩約1分

車

九州自動車道「筑紫野インター」より約5分



福岡共同公文書館には宝くじの収益金が活用されています。